

プロジェクト報告書

団体名 ユーモアスピーチの会八王子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

笑いの集いイン八王子

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ストレスの多い、世知辛い世の中である。
こんな時だからこそ、日常生活の中に積極的に笑いを取り入れることを市民に啓蒙したい。
笑いが心身の免疫力を高め健康に良い効果を与えることは医学界でも認めている。
笑いはどんな人でも楽しくし、自分も明るくなり健康的な家庭づくりに寄与する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

8月8日を「八王子笑いの日」に設定して下記のイベントを開催した。
① ユーモアスピーチに関する基調講演、ゲストによるユーモア講演 (基調講演:1名、ゲスト:2名)
② 落語家と漫談家を招聘し本物の噺を市民に聴いてもらった (落語家:2名、漫談家1名)
③ 笑いの大事典を改版・増刷し無料配布 (100部作成し80部配布・・・当日以外にも配布)
④ 当日のイベントには市民60名(スタッフ13名含む)が参加した。
※特記事項: 会場で東日本災害地を支援するための募金活動を行なった。(社会福祉協議会を通じて寄付)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・8月8日の会場確保と出演者との折衝が一大事であった。
市の施設申し込みをインターネットで3か月前(5月)に行なった。6月に抽選の結果、当選が確定し計画を進めることができた。出演していただく落語家との折衝は知人に仲介していただいたので比較的スムーズに運んだ。
・集客に最大の努力を傾注した。
企画が良くてもお客さんが来るとは限らない。市報や広告紙で募集を行ったが意外に参加者は少なかった。
結局、会員が口コミで友人・知人を勧誘し目標人数(有料31名、招待16名)を達成した。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

イベントの成果は準備で90%が決まると言われている。
今回は企画の段階から全会員に参加してもらい、情報を共有して進めてきた。ポスターづくりや出演者との折衝は役割を分担し、それぞれが責任を果たして遂行することができた。
集客には苦労したが、全員が達成感を共有でき、楽しいイベントであった。
来場者から来年も是非開催してほしいと要望と激励を受けた。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

真如苑助成事業

ワハツハハハ 八王子 笑いの日

笑いのつどい in 八王子

日時：平成25年8月8日(木・笑いの日)
14:00～16:00(開場13:30)

会場：クリエイトホール視聴覚室

参加費：1000円

問い合わせ先
042-663-0068
(進藤)



八王子で
八月八日
ハハハ

《笑タイムプログラム》

14:00 基調講演とスピーチ

14:30 笑いの実践 笑 太陽(わらいたいよう)

環境漫談 只野らつきよ

ユーモア川柳 藤井敬三(シニア川柳教室主宰)

落語 三遊亭圓塾(社会人落語家)

15:30 落語 三遊亭圓王(落語協会・真打)

主催：ユーモアスピーチの会 八王子

「笑いの集いイン八王子」実施状況写真

平成25年8月8日
ユーモアスピーチの会八王子
(八王子市クリエイトホール)



ユーモアスピーチの講演



落語